

Théâtre des Opérettes Françaises-16

テアトル・オペレッタ・フランスーズ-16

監修：村田健司 全字幕つき

2月24日(日) 15:00開演 (14:30 開場) 入場料：3000円
会場：アトリエ・デュ・シャン スタジオA (03-5387-0977)

メノッティ作曲 「テレフォン」(フランス語版)



ルーシーへのプロポーズを決意し、彼女のもとを訪れるベン。
「大事な話があるんだ」しかし、話し始めようとする彼の言葉を遮るように
次々とかかってくる電話。出張に出かける時間が迫る中・・・最後の手段とは??

ルーシー：石井 愛 ベン：笹倉直也 ピアノ：門 真帆

～フィアンセからの挑戦状～

メサジェ「ヴェロニク」

ピアノ：高橋碧伊

フロレスタンは、放蕩生活を送る若者。青春を謳歌することこそが全て。
そんな彼の借金を発端にして起こる騒動。結婚を夢見てやって来た
婚約者ヴェロニクは、ひよんなことからフロレスタンの正体を知ってしまい・・・



エレヌ(ヴェロニク)：増田紋子 (地方の名家の令嬢。)

フロレスタン子爵：吉川響一 (遊び好きの貴族官僚)

エルメランス(エステル)：浅田亮子 (エレヌの叔母で未亡人。)

アガーテ：秋田 薫 (花屋の主人コクナルの妻。)

コクナル：大倉修平 (花屋タンブル・ドゥ・フロールの主人。国民軍の指揮官に憧れる)

メサジェ「ムッシュー・ボーケール」

ピアノ／染矢早裕子

～バラは恋の花～

ムッシュー・ボーケールはフランス大使館つきの床屋。
ある日 身分を偽って 社交界の花レディー・マリーに近づく。
ふたりの恋の行方は? 「謎のフランス人」ボーケールの正体とは?



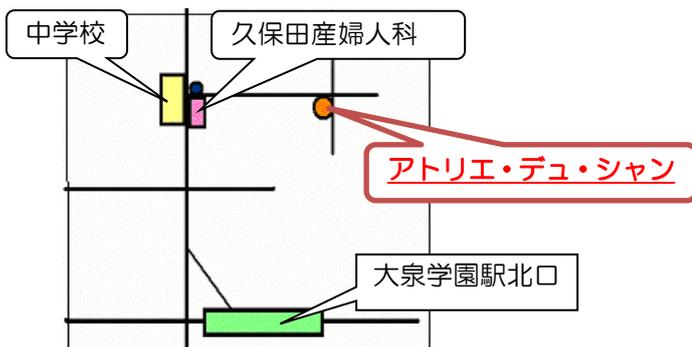
ムッシュー・ボーケール／吉永研二 …… フランス大使館つきの床屋。

レディー・マリー／千野由紀子 …… イギリス社交界の花。

ウィンターセット公爵／仲俣 聡 …… バース在住の公爵。社交界に精通している。

リュシー／齋藤育子 …… イギリス社交界の花で、レディー・マリーの従妹。

モリヌー／木村雄太 …… フランスの貴族。ボーケールと行動を共にしている。



お問合せ先：アトリエ・デュ・シャン

〒178-0063 練馬区東大泉 3-29-20
アトリエ・デュ・シャン 代表：村田健司
TEL/FAX：03-5387-0977
Email：info@atelier-d-c.com
ホームページ：www.atelier-d-c.com

テアトル・オペレッタ・フランセーズとは・・・？

テアトル・オペレッタ・フランセーズとは、日本語で「フランスオペレッタ劇場」
「パリの粋」アンドレ・メサジェのオペレッタ、その他のフランスオペレッタを
大泉学園を本拠地に上演しています。2011年6月にスタート、今回で16回目になります。
日本ではあまり知られていないフランス・オペレッタですが、その軽やかな音楽と、
分かりやすく楽しいお話は、誰からも愛される素敵なものばかりです。
1回の公演で2-3演目、日本語のセリフによるお芝居を挟み、
演奏はフランス語で日本語字幕付き、初めてご覧になる方にも楽しめる内容、構成になっております。

過去に上演した作品は以下の通り・・・

メサジェのオペレッタ

- 「ムシュー・ボーケール」 **バラは恋の花** 舞台はイギリスのバース。フランス大使館つきの床屋
ムシュー・ボーケールは、社交界の花レディー・マリーに想いを寄せている。
彼女に近づくため身分を偽るが・・・「本当の愛」は手に入るのか？・・・
- 「クー・ドゥ・ルリ」 **恋のひと揺れ** クリスマス休暇直前の軍艦モンテスキュー号に突然の視察。
代議士とその娘がやって来た。船長と海軍士官、そして旅の一座の女優を巻き込んでの大騒動。
- 「ヴェロニク」 **フィアンセからの挑戦状** 結婚を夢見るエレヌは、婚約者が浮気者と知って激怒。
名前と身分を偽り、彼に近づき、ギャフンと言わせてやろうと試みるが・・・
- 「パシオネマン」 **情熱的に** アメリカのビジネスマンスティーブソンは、ビジネスのために
フランスにやって来た。妻の浮気を防止するため、青い眼鏡と白いカツラを被せて、老婆のフリをさせる・・・
- 「可愛い郵便局長」 **プレシニー村騒動** 1900年のプレシニー村に、パリジェンヌがやって来た！
村には噂好きな女たち、やる気のない郵便局員と配達係、世話役の公証人夫妻、
中世の貴族の伝統を守る子爵が居た。
- 「レ・プティト・ミシュー」 **ミシュー家の可愛い双子** フランス革命のただ中、イフ侯爵は一人娘を
ある商人に託し、イギリスへ逃亡した。それから17年、帰還したイフ侯爵を迎えたのは、双子の姉妹だった・・・
- 「シプリアンはお役御免」 **乱入男の幸せの行方** あるお芝居の上演中、舞台上に上り込んでワメキ散らす男。
その男を注意しようと一人のマダムが参戦。そのうちに何故か男とマダムは意気投合、舞台は台無しに・・・
- 「ベアルネーズ」 **ベアルンの娘** 16世紀末のパルマ公国が舞台の歴史パロディー。 独裁者パルマ公爵の
もとにふたりのフランス人がやって来て大騒ぎ。 死刑か鞭打ちの刑か？ でもハッピーエンド？

その他のオペレッタ

- シャルル・ルコック：**サロン・オペレッタ「愛の策略」** ピエロとコロンビーヌの寸劇。コロンビーヌは
ピエロとアルルカンにある条件を出し、策略を立てる。なぜかピエロに化けて登場し・・・
- シャルル・ルコック：**サロン・オペレッタ「戸でキス」** 売れない弁護士ロバンのもとに舞い込んだ
2件の離婚訴訟。喜びもつかの間大変な事実が判明し、ふたりは陰悪な雰囲気。そして・・・
- デルメ：**「月に寄せて」** ある美しい月夜の晩、ロマンチックにフランススカを誘うベアート。
しかしフランススカはベアートに違うロマンチズムを問いかける・・・それに応えようとしたものの・・・



アトリエ・デュ・シャン（歌の工房）主宰：村田健司（バリトン・レジェ）

東京藝術大学音楽科卒業、フランス政府給費留学生としてパリ音楽院に留学。
中山悌一、古沢淑子、疋田生次郎、
ジャック・ジャンセン、カミーユ・モラーヌに師事。
1984年 文化庁芸術祭優秀賞 受賞 二期会会員。

フランス人と日本人が共有する豊かな感性にスポットを当て、フランス音楽を楽しみながら
言葉の壁を乗り越えることをモットーに指導、音楽活動をしている。

アトリエ・デュ・シャンのメンバーによる、フランス・オペラ・ハイライトのコンサート「アール・リリック」
フランス・オペレッタを上演する「テアトル・オペレッタ・フランセーズ」、フランス近代の歌曲を中心とし
た勉強会とサロン・コンサート「サロン・ド・メロディスト」など。後進の指導に当たっている。